

番号	39	名称	旧第一生命館（DNタワー21）		
指定日	平成 15 年 8 月 8 日		所在地	有楽町一丁目 13 番 1 号	
設計者	渡辺仁、松本与作（増築：清水建設）		竣工	昭和 13 年（1938）	
					
<p>歴史・文化的特徴</p> <p>終戦直後の昭和 20 年（1945）9 月に GHQ（連合軍総司令部）により接収され、昭和 27 年（1952）7 月に返還された。現在でもマッカーサー総司令官室が保存されている。戦前最後の現存する大規模建築として、東京都選定歴史的建造物に選定されている。</p> <p>1995 年、旧建物を保存改修するとともに、その低層部の余剰容積を使って超高層タワー部を増築した。超高層化に伴い、丸の内の歴史的建築物の保存手法を新しい時代に導いた。</p>					
<p>意匠・構造の特徴</p> <p>外装は花崗岩を主とし、装飾を排したシンプルなモチーフの力強いデザインでまとめられている。保険書類を守るためか、非常に堅牢な造りになっている。</p> <p>増築した超高層部も保存部分の意匠の重厚なモチーフを使って、ガラス面の大きい周囲のビルと異なる個性をみせる。改修・増築設計にアメリカ人建築家のケヴィン・ローチが参加した。</p>					
<p>周辺景観との関係</p> <p>周辺は帝国劇場、少し先に明治生命館（重要文化財）など、大建築が並んでいる場所。</p> <p>日比谷交差点付近から日比谷通りを見た時、31m で低層部が揃う景観は、美観地区指定の意味を語るものである。</p>					